

第48回労働者スポーツ祭典西部地区大会実施要項

1. 祭典の目的

労働者にスポーツを普及し、労働者の健康増進と体位向上をはかり、地域職場の交流の場として労働者の親睦と産業の振興に寄与する。

2. 主催と後援

主催 鳥取県労働者スポーツ祭典西部地区実行委員会

後援 鳥取県、米子市、境港市、西部町村会、米子市体育協会、労福協西部支部、連合鳥取西部地域協議会

3. 主催団体役員

大会実行委員長(労福協西部支部 支部長) 遠藤憲二

副実行委員長(〃 副支部長) 中島ちから・矢辺慎一・杉原伸一郎

事務局長(〃 事務局長) 井上準一

事務局次長(〃 事務局次長) 湯川忠文・安部泰夫

顧問(西部総合事務所所長) 林 昭男

〃(米子市長) 野坂康夫

〃(境港市長) 中村勝治

〃(西部町村会長) 石操

実行委員(米子野球協会) 永田 浩

〃(米子市バレーボール協会) 山原 悟

〃(米子卓球協会) 安田政義

〃(米子地区ソフトボール協会) 山崎敬男

〃(米子市バドミントン協会) 石谷 浩

〃(米子市グラウンドゴルフ協会) 角 秋児

〃(米子市体育協会) 安井啓介

事務局員(労福協西部支部幹事) 森田哲博・浜田 伸・建部一郎・小田 齊・坂田 博・赤井 裕・持田崇行

大柄照光・小髪知典・伊田敬哲・中井大介・内田浩文・小沼寛明

加納 誠・新井廣利・福島政文・大江 明・奥薙孝一・米田 健・森 悟

道川信一・鹿原文裕・池田暁美・藤本健司・笹間孝治・梅谷俊一

4. 競技種目

軟式野球、バレーボール(男女)、卓球(男女)、ソフトボール、バドミントン(混合)、グラウンドゴルフ、ボウリング、は県予選をかねる。

5. 試合日程

(各球場ごとに開会式を行う)

競技種目	競技会場	開催日	予備日	時間	キャプテン会議
野球	市民球場、淀江、王子 市民球場、淀江、王子	8月20日(土) 21日(日)	8月27日(土) 淀江、王子	役員集合 7:30 選手集合 8:00 開会式 8:30 開始時間 9:00	7月27日(水) 18時30分～ 場所 弓ヶ浜荘
ソフトボール	東山スポーツ広場 A, B	8月21日(日)	8月28日(日) 東山スポーツ広場A, B		
バレーボール(男女)	湊山体育館	8月28日(日)		役員集合 8:30 選手集合 9:00 開会式 9:10 開始時間 9:30	
卓球 (男女)	福生体育館	8月27日(日)			
バドミントン (混合)	福米体育館	8月21日(日)			なし
グラウンドゴルフ	日野川堰右岸	8月28日(日)	9月4日(日) 日野川堰右岸		
フットサル	日吉津トレセン	9月4日(日)			
ボウリング	YSPボウル	9月8日(木)	18時30分より開会		

申し込み締切日 ボウリング以外の種目 7月25日(月) ボウリング 9月2日(金)

6. 連絡場所

鳥取県西部地区労働者スポーツ祭典事務局 (電話) 0859-23-2030 (FAX) 0859-23-2090 (連合鳥取西部地協内)

7. 参加資格

西部地区大会は(米子市、境港市、西伯郡、日野郡)に所在する事業所の従業員あるいは労働組合(支部・分会含む)の組合員でアマチュア競技者に限る。尚、チーム編成は事業所あるいは労働組合単位とする。県大会参加資格は労福協加盟組織に限る。

8. 参加手続き・参加料

7月25日までに競技種目別及び、チーム別、男女別に申込書と参加料をスポーツ祭典事務局に納金し申し込むこと。

参加料は実行委員会で協議、決定した下記金額を申込書と共に納入する。尚、棄権した場合は参加料は返還しない。

《参加料》 野 球(1チーム) 6,000円 ソフトボール(1チーム) 6,000円

バレーボール(1チーム) 5,000円 卓 球(1チーム) 5,000円但し女子の参加は無料とする。

バドミントン(1チーム) 5,000円 グラウンドゴルフ(1チーム) 3,000円

フットサル(1チーム) 3,000円

ボウリング(1チーム) 4,000円・・当日受付時に徴収(申込んで棄権をした場合、別途徴収)

9. チーム編成

(1)軟式野球・・・監督を含めて25人以内とする。(但し、西部地区大会のみの適用とする)

- (2)バレーボール・・・監督、コーチ、マネージャーを含めて15人以内。但し、選手は12人以内とする。なお、男子・女子チームとも9人のチーム編成ができない場合、それぞれ2名以内で女子若しくは男子選手の出場を可とし、総勢9人とすることができる。ただしその選手は、アタックおよびブロックは行なえないものとする。
- (3)卓 球 ・・・混合チーム(男子のみでも可)は監督を1人選手7人以内とする。女子チームは監督1人選手4人以内とする。但し、監督は選手を兼ねる事が出来る。
- (4)ソフトボール・・・監督、スコアラーを含めて20人以内とする。但し、選手は男子35歳以上とする。
(女子の年齢制限はなし) 2011年度硬式野球連盟に登録されている者は除く。年齢の基準は、4月1日を満年齢とする。
- (5)バドミントン・・・監督、コーチを含めて10人以内とする。但し、女子は常時2人以上出場させること。
- (6)ボウリング・・・1チーム4人とする。但し、男子2人、女子2人監督は選手を兼ねる事が出来る。
- (7)フットサル・・・1チーム12人以内とする。性別は問わない。監督は選手を兼ねる事が出来る。
- (8)グラウンドゴルフ・・・1チーム4名とする。性別は問わない。監督は選手を兼ねる事が出来る。

10. 競技規定

(1)軟式野球は2011年度公認野球規則及び全軟の規定による。但し、大会特別規定を別に設ける。

(背番号は監督30、キャプテン10)

(2)バレーボールは2011年度日本バレーボール協会9人制競技規則に準ずる。(背番号と胸番をつける)

(3)卓球は2011年度日本卓球ルールによる。(別図に示すゼッケンを背中につけること)

(4)ソフトボールは(財)日本ソフトボール協会2011年度オフィシャルルールによる(金属スパイクは禁止)、ユニフォームナンバーは(1~99)を着用し、監督(30)、キャプテン(10)とする。但し、大会特別規定を別に設ける。

(5)バドミントンは2011年度(財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規定による。

(参加選手は背面に別図に示すゼッケンを着用する)

(6)ボウリングは2011年度(財)日本ボウリング協会が定めた競技規則を準用する。

(7)フットサルは2011年度日本サッカー協会が定めた競技規則を準用する。(すね当てを必ず着用)

(8)グラウンドゴルフは日本グラウンドゴルフ協会のルールを適用する。

*ユニフォームについては、統一したものでなくてもよいが、スポーツができる服装とすること。背番号については統一とする。

11. 使用球等

(1)軟式野球A号ボール (2)バレーボール5号球 (3)卓球TSP 40mm (白) (4)ソフトボール協会3号球(ゴム)

(5)第1種検定合格球(バドミントン) (6)日本サッカー協会認定品 (7)グラウンドゴルフ日本協会認定品

12. 試合方法

各種目ともトーナメントを原則とし、三位決定戦は行なわない。

(1)軟式野球・・・7回ゲームとする。5回以降7点差でコールドゲームとする。日没、降雨等の時は4回終了で正式試合とする。勝負が決しない場合は抽選で決定する。(注)規定に基づくユニフォームを着用しなければ出場資格が取り消されますので厳守のこと。1時間30分を経過したら新しいイニングに入らない。

(2)バレーボール・・・9人制競技規則による。

(3)卓 球 ・・・硬式による団体戦とし、5ゲームマッチ(11本5セット)で行い1ダブルス、4シングルスの5試合とする。3番にダブルスをおく得点法による。ダブルス出場者がシングルスに出場する場合は、1・2番または、4・5番に別れて出場するか、もしくは2人とも4・5番に出場するものとする。女子の部は1ダブルス2シングルスの3試合とする。

(4)ソフトボール・・・7回ゲームとする。5回以降7点差でコールドゲームとする。1時間30分を経過したら新しいイニングに入らない。勝敗が決しない時は抽選で決定する。

(5)バドミントン・・・団体戦とし、3ゲームマッチで行い男子2ダブルス、女子1ダブルスとする。
(ラリーポイント制で行なう)

(6)ボウリング・・・28レーン。(申込み多数の場合は事務局で調整させて頂きます)

団体戦は1チーム4人で1人2ゲームによる総合得点とする。但し、同得点の場合は年齢合計の高い方を勝ちとする。個人戦は団体参加の高得点者から男女に優勝・準優勝を決める。

(7)フットサル・・・試合は、前、後半の12分ずつ行う。

(8)グラウンドゴルフ・・・1人2ゲームで4人の合計得点によるチーム戦とする。

(9)具体的にはキャプテン会議で決定する。(野球・ソフトボールのみ。他の競技については当日行なう。)

キャプテン会議は7月27日(水)18時30分から、弓ヶ浜荘で行なう。

13. その他

傷害事故が発生した場合、本部は応急処置の外は、一切責任を負わない。

【ボウリング以外の全競技のスポーツ傷害保険に加入します。但し、補償額は死亡500万円、入院1,500円(1日)、通院1,000円(1日)程度】

14. 県大会

期 日	2010年10月2日(日)				予 備 日	10月9日(日)	場 所	東部地区
	軟式野球	バレーボール	硬式卓球	ソフトボール	バドミントン	ボウリング	グラウンドゴルフ	
東部	2	4 4	4	2	4	6	4	
中部	1	2 2	2	1	2	3	2	
西部	1	2 2	2	1	2	3	2	

☆県大会出場チームは、東部・中部・西部地区祭典で出場資格を得たチーム。

☆県大会出場資格チームが事情により辞退した場合は、次順位のチームとする。(次順位チームが複数の場合は抽選とする)